



花桃



桜



しだれ梅



菜の花

花まつり実施報告画像 1



しだれ梅園施肥作業



花桃園に木材チップ



施肥作業



除伐作業



排水溝設置作業



排水溝設置作業

花まつり実施報告画像2



10周年記念石碑除幕



感染症対策をして開催



10周年記念式



パネル展示観光ガイドの会も応援



武将隊の演武と見学者の皆さん

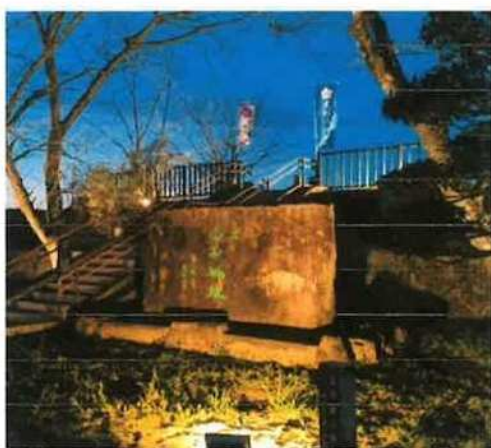
花まつり実施報告画像 3



しだれ梅咲き始め



しだれ梅満開



ライトアップの高山城跡



夜桜とボンボリ



最後にハナモモ開花



ハナモモとのぼり旗

立体パネル (80cm×120cm)



土岐源氏の発祥と土岐高山城の創建

奈良時代 皇統が断絶
平安時代 多くの皇子を擁した

①子孫の多くが臣降下して清和源氏となった
②大和、奥平、甲斐など各地に広がった土岐源氏系
③源頼朝(足利義満)の御代、足利義満(徳川家康)など武家源氏の大半がこの系統

平氏(字家)は 源氏(字家)の子孫(伊勢守、中務卿)



清和天皇 平安前期第56代天皇

平安時代に清和天皇の子孫の源国房は美濃に勢力を伸ばし、その孫光信は美濃國土岐郡大宮(土岐市)に進出しました。各地に広がった源氏、平氏の武士集団は源平の合戦を経て源頼朝が鎌倉に幕府を設けました。美濃の土岐源氏は源光信が大宮に館を構え、光信の孫から土岐氏を名乗り(吾妻鑑)、後に一日市場館(瑞浪市)に移り多くの産流を生み出しました。光信の嫡男光行は承久の乱(1221)の頃に淡路館(土岐市)を建て、京都の朝廷と鎌倉幕府の双方と深い関わりを持ちながら美濃國の統治に力を注ぎました。

土岐高山城は承久の乱(1221年)の頃に土岐一族の高山伊賀守秀頼により創建され、美濃國の中核となった淡野、大宮の居館を守護する要塞として重要な役割を果たしました。

光行の孫、頼貞は大高館を居館とし室町幕府成立とともに美濃國守護に任命され、高山氏も土岐氏と共に室町幕府に仕えました(太平記)。

土岐頼貞の子頼遠は岐阜長森に城を築き、その自由奔放さからバサラ大名と言われるようになりました。頼遠の甥頼康は美濃國ばかりでなく尾張國、伊勢國も統治し、土岐氏は約200年に渡って繁華を誇りましたが、末代の頼基は臣下の斎藤道三に追われ、やがて諸國に武士集団が乱立し戦国時代を迎えることになります。



美濃源氏の家紋「水色桔梗」



土岐源氏発祥の地 位置関係図



古文書に見る土岐高山城城主の変遷

濃州小里記

濃州小里記によると土岐伯耆守(源頼義)二男高山伊賀守秀頼の五代の孫宮内少輔光俊に子なく、天文21年(1552)御嵩城の小栗信濃守は高山城を押し戻そうとした。

肥田の庄屋が岩村城の遠山氏に助けを求め、武田信玄の命を受けた平井頼母、後藤庄助や、明智の遠山景行、小里の小里光忠らが高山城を救援し、御嵩城は落城、小栗重則は自刃しました。この時高山城は武田信玄より平井頼母に安堵されました。

この時代、東美濃においては土岐明智氏が勢力を強めていましたが同年、明智定明が弟の明智定衡によって殺害される事案が起こり、土岐氏末代の土岐頼基は守護代の斎藤道三に追われ、その後道三と斎藤義隆の争いで明智光秀も美濃を追われ土岐氏は終焉を迎えます。



土岐源氏ゆかりの城 土岐高山城跡

春の花まつり



しだれ梅



菜の花



桜

花桃

予想開花時期

しだれ梅	2月26日 (土) 頃～
菜の花	3月 5日 (土) 頃～
桜	3月19日 (土) 頃～
花桃	3月26日 (土) 頃～

各種イベントなどは新型コロナウイルスの感染状況によっては開催できない場合があります

武将隊	3月26日 (土) 11時～15時
武将隊	3月27日 (日) 11時～15時

桜と花桃のライトアップ
高山城高山宿 歴史パネル展示

桜の開花～3月末頃まで 18時～21時
イベント開催時



新型コロナウイルス感染拡大防止のため昼夜を問わず



お茶会は感染症対策をとって実施します

主催 高山城高山宿史跡保存会

共催 土岐里山の会

後援 高山区自治会

土岐津町まちづくり協議会



ニュースは下記へどうぞ

東濃総局 0572(22)2371
 Fax 0572(22)1864
 恵那支局 0573(26)2307
 Fax 0573(26)5430
 中津川支局 0573(66)1508
 Fax 0573(66)6500
 可児支局 0574(25)3675
 Fax 0574(27)1380
 本社編集局 058(264)1166

購読お申し込み
 フリーコール 0120(147)234
 フリーFax 0120(347)410

建替え・新築・増改築のことなら
信頼・木と質にこだわりグループ
 小さなリフォームからはじめよう!
匠プロザ21
岐阜新聞匠プロザ21事務局 ☎058-266-0165

【県内のポイント予報】

	昼			夜		
	6時	12	18	24	6時	12
岐阜	☀	☀	☀	☀	☀	☀
高山	☀	☀	☀	☀	☀	☀
関	☀	☀	☀	☀	☀	☀
大垣	☀	☀	☀	☀	☀	☀
多治見	☀	☀	☀	☀	☀	☀
郡上	☀	☀	☀	☀	☀	☀
揖斐川	☀	☀	☀	☀	☀	☀
中津川	☀	☀	☀	☀	☀	☀
下呂	☀	☀	☀	☀	☀	☀

高山城跡活用 決意新た

土岐市「保存会」10周年で式典



10周年を記念して建てた土岐高山城跡の森記念碑。後方には梅園が広がる。土岐市土岐津町

土岐市土岐津町の高山、土岐口地区の史跡保存活用に取り組み「高山城高山宿史跡保存会」が設立10周年

を迎え、記念式典が19日、同町の土岐高山城跡の森で開かれた。会員ら約50人が集まり、これまでの歩みを

ドラマを見て、やらなければいけないことは知っていた。大事に至らずよかった」と話している。

同本部は、酒井さんと一緒に胸骨圧迫をした別の男性(70)にも感謝状を贈る。(箕浦由美子)

を「春の花まつり」を開催している。この後、桜やハナモモも順次開花する。(箕浦由美子)

10周年を記念して建てた土岐高山城跡の森記念碑。後方には梅園が広がる。土岐市土岐津町

式典では、西尾正之会長が「最近ようやく各地から人が訪れるようになった。各方面の支援を得ながら、会員一同努力していきたい」とあいさつ。これまでの取り組みを記した記念の石碑を建て、来賓の加藤淳司市長らと除幕した。

周辺に植えた梅や菜の花が見頃を迎え、保存会では「春の花まつり」を開催している。この後、桜やハナモモも順次開花する。

振り返り、節目を祝った。保存会は2009年ころから地元住民が始めたボランティア活動が発端。土岐市指定史跡「高山城跡」の周辺の草刈りから始め、11年には会を設立して活動を本格化し、あずまやや、やぐらの整備、戦国合戦まつりなどを催してきた。さらに周辺に花木を植樹して梅園を整備、県環境保全モデル林の認定を受けるなど、一帯を土岐高山城跡の森として管理している。

備えよう
 防災